

ダイワコーポレーションの専用施設で16年3月に竣工



図案完成センターショールーム

レッドウッド

グループ・ジャパン（本社・東京都港区、スチュアート・ギブソンCEO）は20日、千葉市花見川区横橋町で「レッドウッド千葉北ディストリビューションセンター」の地鎮祭を

行った。同施設はダイワコーポレーション（本社・東京都品川区、曾根和光社長）の専用施設として開発するもので、延床面積約4万平方メートルの4階建て。RCS構造で上層階にアクセスするスロープを設け、太陽光発電設備の設置を計画している。2016年3月の竣工を予定。

開発地は千葉県中央部に位置し、首都圏の内陸物流拠点として千葉市や県内の消費地をはじめ東京都心への往復輸送が可能な立地。東関東自動車道千葉北インターチェンジ（IC）から約2.5kmで、接続する高速道路および国道16号線を通じて埼玉、北関東・東北方面へのアクセスにも優れる。

京成本線・実籾駅から約3・6km、総武本線・新検見川駅から約4・3kmで、周辺には住宅街があるため雇用環境も容易という。ダイ



ワコーポレーションと賃貸借契約を結んでおり、市街化調整区域での開発に伴い、国土交通省の「物流総合



ダイワコーポレーションの曾根社長

効率化法」の認定を受けた上での開発許可を取得済みだ。

直会で、レッドウッド・グループ・ジャパンのチャールズ・ポルテスプレジデントは、

「40件以上の開発プロジェクトに携わった今でもそれぞれの物件に関心を寄せている。各センターが雇用の創出、地域の税収増、太陽光発電を通じた地域貢献につながっていることは感慨深い。千葉北ディストリビューションセンターのゴールは、お客様が理想とする戦略的物流ハ

ブ拠点にすること」と挨拶。

ダイワコーポレーションの曾根社長は「この立地の魅力とレッドウッドの営業担当の方の熱い思いを感じ、1年以上前から借りることを決めた。BTS（ビルド・ツー・スリーブ型）の施設で当社の要望が盛り込まれおり、（地鎮祭を迎えられ）感慨深い。当社は東京湾岸部で倉庫を展開し、今回の千葉北の拠点は異例でありチャレンジ。（拠点の特性を活かし）これまで接点のなかった業種のお客様にも営業活動を行っていく」と述べた。

この後、設計施工を手掛ける鴻池組（本社・大阪市中央区、葛田守弘社長）の鴻池一季名譽会長が挨拶。シャロンテック（本社・東京都千代田区）の福山博之社長が乾杯の音頭を取り、歓談に移った。